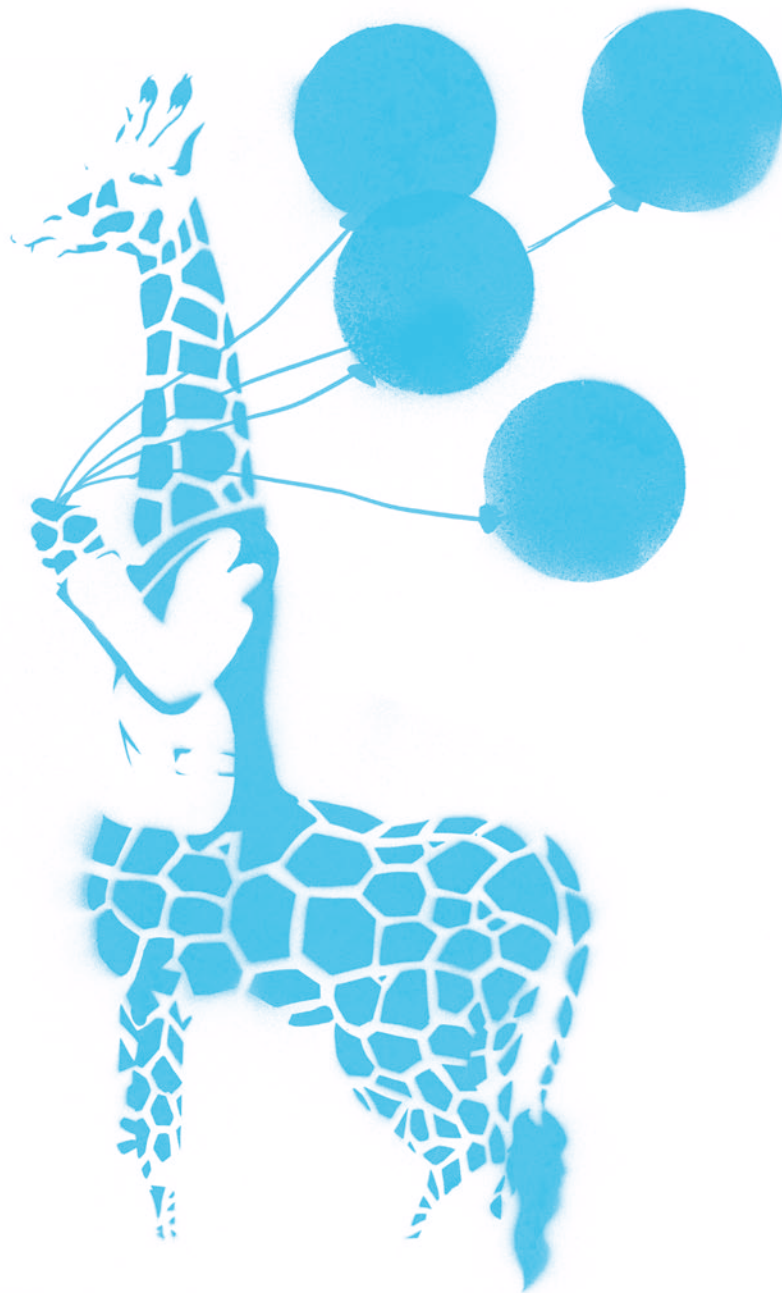


# Parlando

ぱるらんど 「語りかけるように歌う」という意味の楽想記号です

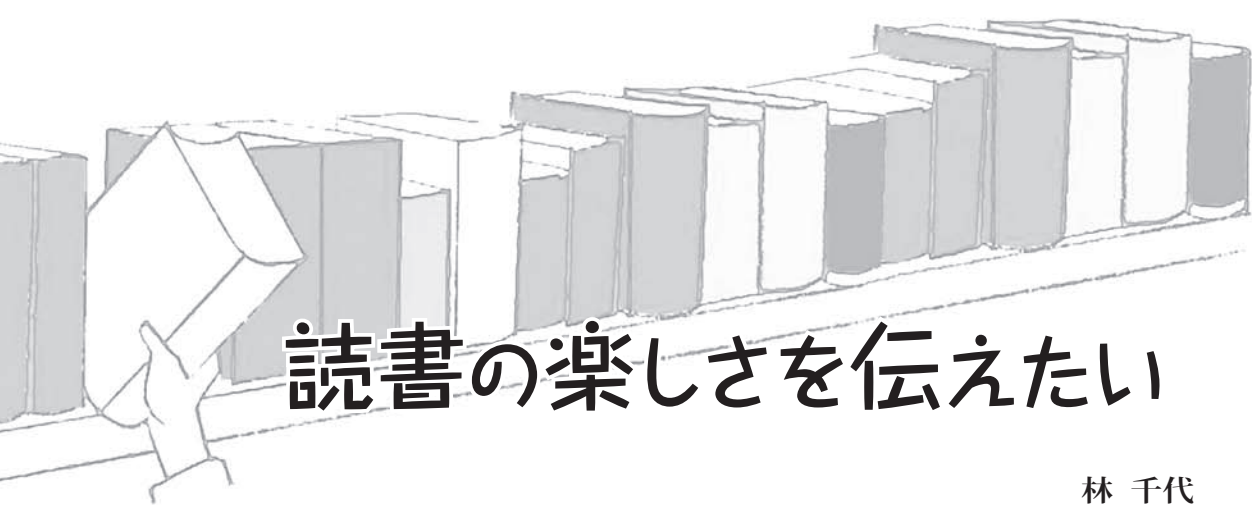
267



## Contents

---

- 読書の楽しさを伝えたい…林千代●1
- 双六 壽語禄 壽語録…長谷川由美子●2
- ピープル・ぴーふる ㉔ 知られざる女子留学生…曾根雅俊●4
- 歌詞を読む本…伊藤陽子●5
- 図書館と著作権と資料の複写（その1）…●6
- 図書館委員の先生からのおすすめ ～このCDあの図書～ ㉓…●7  
ディヌ・リパッティ『プザンソン告別演奏会』／加藤一郎  
BEYOND TALENT（ビヨンド タレント）日本語版／酒井美恵子
- 館長室の窓から ㉓ 海の贈り物…佐藤真一●8
- 図書館を利用するということ…岡野那美子●8
- 図書館のう・ご・き…松浦淳子●9
- Library Data 2009…●10
- BOOK/楽譜/DVD…加藤桜子・溝渕加奈枝・齋藤由香利●14
- Information…●16



# 読書の楽しさを伝えたい

林 千代

近年、インターネットや映像メディアが、若者たちの生活を浸食している。毎日、数時間にもわたって、パソコン・携帯・テレビの画面を眺めて過ごす学生はかなりの割合に及ぶであろう。それにともなつて、本を読まない「不読者」が増加の一途をたどっている。2008年に東京大学の研究グループが5万人の大学生を対象に行った調査によると、一月に漫画以外の本を「4冊以上読む」学生は16%、「1冊読む」学生は28%、「全く読まない」学生は29%で、本をほとんど読まない学生は、なんと6割近くになる。試しに国立音大生に「本を読みますか」と質問すると、大半の学生から「ほとんど読まない」という答えが返ってくる。

私たち大学で教育に従事する者は、この現実をどのように受け止めればよいのか。「こんな時代だから、ある程度の読書離れは仕方がない」とあきらめるのか。しかし、子供のころから読書に親しみ、何冊もの心を揺るがす本に出会い、読書を通して「学び」を培ってきた私たちの世代は、そう簡単にあきらめることができない。なんとかして、若い世代に、読書の楽しさを伝えたいという思いが募る。活字という記号を自分の頭で組み立てて、ことばに変換するという知的な作業を通して、新しい知見を獲得し、自分の世界を広げてほしい。テレビの画面を「受身的に」眺めるのとは全く異なる「能動的な」読書のパワーを経験してほしい。本の中で、国境を超えて、世界中の作家や人々と出会い、対話をしてほしい。

そのためにはどうすればよいのか。アメリカの心理学者であるチクセンミハイは、「フロー理論」にその答えを見つけている。「フロー」とは、内発的に動機づけ

られた活動（音楽の演奏、スポーツ、チェス、ダンス、ロッククライミングなど）を行っている際に、時を忘れるほど注意を集中し、その行為自体が目的となる状態、つまり行為者と行為が一体化する経験である。読書においても、私たちが時の立つのを忘れて、お話の一部になるとき、食事も忘れてミステリー小説を一気に読み進むときに、「フロー」は起こる。チクセンミハイは、このような「フロー」体験を読書で繰り返し経験することにより、心の内から湧き出る「読みたい」という願望が強まり、その結果、読書量が増え、読書の幅が広がり、生涯を通じての「自律した読書人」が育つとしている。

学生達の読書における「フロー」体験を促すために、私たちにできることは何か。その一つは、彼らが「フロー」を経験しやすいように読書環境を整えて、学生の読みを「伴走」していくことであろう。具体的には、学生に私たちの読書体験を伝え、どのような本を読めば良いかを示すことである。本を読むことに困難に感じている学生には、読みやすく、そして楽しめる本を提示し、読書会を開き、読みのプロセスをコーチすることもできる。他大学での実践例としては、創価大学の「全学読書運動」、西南学院大学における招聘した著名人や教員がリレー式で読書に関する講義を担当する「読書教養講座」、中央大学での読むことと書くことを結び付けた「リテラシー教育」などがあげられる。これらの先例からも学び、国立音大生に読書の楽しさを伝えたい。これらの試みが学生の「教養力」の向上につながることを確信する。

# 双六

# 壽語録

# 壽語録



長谷川由美子



すごろく すご六 双六 双録

双語六 壽語録 壽娘録 壽古録

壽古六 壽語録 壽語六 壽吾陸

壽古六 壽古呂久 壽護録

すべて「すごろく」と読むが、一番一般的な漢字は「双六」であろう。

「双六」は「振り出し」から始めて「上がり」までをさいころを振って出た数だけ前に進む、という昔の子供の遊び道具。当館所蔵の絵双六は3点あるが、すべて当時流行っていた歌の歌詞がそのまま使われている。ウタを覚えさせる補助手段でもあった。

ここでは「軍歌」が題材になった『小學教育軍歌壽語録』と『征清大勝利軍歌壽語録』を紹介しよう。

## 小學教育軍歌壽語録

『小學教育軍歌壽語録』●貴重書 (尾関トヨ、明治25年10月 85×49.5cm)は錦絵の技術が生かされた彩色版画である。現在では美術品として鑑賞されるかもしれない。

15の絵が4段に別れて描かれ、それに合致するウタの言葉(詞章)が一緒に彫り込まれている。詞は鎌倉時代末期に後醍醐天皇を助けて幕府を倒す計画に加わり、また、負け戦とわかっていながら天皇のために戦った当時の軍師父子の「楠正成」「楠正行」を主題としている。「皇国史観」を小学生に刷り込ませる上にも、昔の英雄を讚美する上にもこの父子は格好の題材で、明治時代の歴史教科書では必ず取り上げられ、軍歌集の題材としても3本の指に入るほど頻繁に登場する有名人であった。

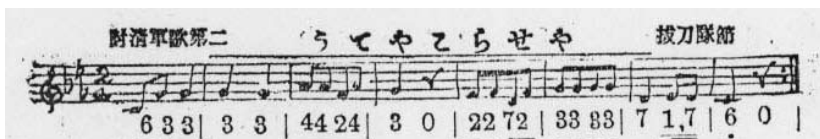
双六に使われた詞は3篇あり、2篇は明治19年出版の『軍歌』(有則軒)収録の《楠正成櫻井驛に於て正行へ遺訓の歌》と《小楠公を詠ずるの歌》、1篇は明治20年出版の『古今戦争歌』(吉澤富太郎)収録の《千劍破の合戦》である。《楠正成櫻井驛に於て正行へ遺訓の歌》だけは、複数の旋律がついたが、いづれも短命に終わっていて、長く歌われる事はなかった。小学

6年生程度を想定して作られた双六は、ルビが振ってあるとはいえず、読むのは結構むずかしい。

## 征清大勝利軍歌壽語録

次に紹介する『征清大勝利軍歌壽語録』●貴重書(長谷川常次郎、明治27年12月 47×60cm)は明治27年に勃発した日清戦争が題材である。日清戦争以前と以後では軍歌の詞の性質が変わる。開戦以前の軍歌集では「楠正成」などのように歴史上の人物や、忠君愛国を強く押し出した詞が多かったが、開戦以降、実際の戦闘をまるでニュースのように詞にした軍歌が大半を占めるようになった。軍歌は具体的な戦闘状況の描写と速報性という報道メディアとして機能したのであった。大量出版される軍歌のために紙の値段は上がり、また、清国蔑視の歌詞は売れに売れて、板元は「再版再版で主人は大黒顔の悦び」と報じられたほどだった。双六の題材となった

のは4種の詞から成る《討清軍歌》、あるいは《征清軍歌》の第一番《膺てや懲らせや》で、日清戦争時の有名な軍歌であった。開戦は明治27年7月25日だが、直後の8月には楽譜を伴って出版された。絵双六の出版は同年12月で、戦争の最中に急いで製作したと思われる粗雑な作りである。32に仕切られた枠に詞章が細分化されて配置されている。詞につけられた旋律には元歌がある。元歌の詞は『新體詩抄』(丸屋善七、明治15年8月)に取められた《抜刀隊の歌》(外



《討清軍歌》請求記号●F12-325

山正一詞)で、西南戦争時の西郷隆盛を歌った歌である。《ラ・マルセイエーズ》と《ラインの護り》(Die Wacht am Rhein)当時のドイツで国歌の代わりとして歌われ、ヒットラーの第三帝国時代にも第二国歌として使われた曲)を参考に作られた。この詞が明治19年出版の『軍歌』(有則軒)に転載され、さまざまな同様の出版物に再録された。

曲は陸軍軍楽隊のお雇い教師であったフランス人のルルー(Charles Leroux)が作曲、明治18年7月の鹿鳴館の演奏会で歌ったとされている。旋律は16小節にわたる繰り返しのない長いもので、最初に現れる6度音程の跳躍



『小學教育軍歌壽語』\*当館貴重書

といい、めまぐるしく変わる調性といい、ルルーのきびしい訓練を何ヶ月かにわたって受けた軍楽隊員以外には歌いこなすことが出来なかつたと思われる。当時の新聞は曲の感想を「頗る面白く」と伝えているが、総勢80人の合唱隊に喇叭の伴奏を伴った派手な演出のために、聞く分には「頗る面白」かつたのであつて、軍歌として一般に歌われることを想定して作られたわけではなかつた。「當時の兵卒の語り物としてはあまり高尚に過ぎたので、各隊適宜に節附けをして用いて居った。・・・簡単な二節繰り返し位なもので歌はれていたのであつた。」と当時の音楽事情を綴った回想録は記す。正岡

子規は「・・・無学の兵士と小学の生徒は猶彼抜刀隊の歌を以て無上の名作と為すに非ずや」と記し、国木田独歩は「われは官軍わが敵は『抜刀隊』の歌いだし』てふ没趣味の軍歌すら至る處の小學校生徒をして足並み揃へて高唱せしめき」と嘆いたが、高名な文学者が何と言おうと、難しすぎて歌えなく、旋律が歌い崩されようと曲は一世を風靡したのであつた。その旋律が日清戦争時に再び浮上して双六の題材になつたのである。

その10年後の日露戦争時、同じ曲は《征露軍歌》として再度復活する。日露戦争時の多くの軍歌は西洋曲からの旋律を借用した曲が非常に少なく、ほとんどが日本人の旋律による。これが関係したのかどうかは定かではないが、《征露軍歌》はもはや日清戦争時に『討清軍歌』が流行したほどの力は持ちえず、出版された事実のみを残して短命に終わった。

「唱歌校門を出ず」とはよくいわれることだが、その逆に軍歌はたやすく校門に入つていった。明治期に出版された軍歌集には「教科適用」、「教育軍歌」、「生徒必携」、「小學教育」等学校教育に関する言

葉を持った出版物が多く現われた。また、「軍歌」という用語を付さない唱歌集にも、詞が「軍歌調」である曲は非常に多い。現代に生きる私たちは、かつて軍歌が子供の遊び道具の題材や教科書に載るような時代があつたことを、単に歴史的事実としてさりと受け流すのではなく、重く心に受け止め、再びこのような時代が来ないことを心から願つて、一人一人がそのために努力すべきであろう。

### 参考文献

- ◆加藤康子・松村倫子「幕末・明治の絵双六」国書刊行会、2002(請求記号●J117-606)
- ◆「歴史教科書総解説」『日本教科書大系近代編 第二十巻 歴史(三)』講談社、1904(請求記号●J40450)
- ◆鈴木鼓村「耳の趣味」左久良書房、1913(請求記号●00816)
- ◆赤塚行雄「新體詩抄」前後—明治の詩歌—學藝書林、1991  
\*当館所蔵なし
- ◆堀内敬三「日本の軍歌」日本音楽雑誌、1944(請求記号●J96047館内閲覧)
- ◆中村理平「洋楽導入者の軌跡」刀水書房、1903(請求記号●C57-191他)
- ◆細川周平「西洋音楽の日本化・大衆化」『軍歌』[Music Magazine] Vol. 21, No. 14, 1989, p.94-99.(請求記号●P763/21/14)

\*今回で紹介した資料は貴重書につき、利用に際しては制限があります。

●はせがわ ゆみこ《膺てや懲らせや》はビゼー作曲のオペラ『カルメン』中の〈アルカラの竜騎兵〉とよく似ている。時々こんがらがる。



# 知られざる女子留学生

生田澄江  
『瓜生繁子—もう一人の女子留学生』  
文藝春秋企画出版部、  
2009(請求記号●J115-424)

曾根 雅俊

皆さんは、津田梅子、山川捨松、瓜生繁子という名前を聞いたことがありますか。この3人に吉益亮子、上田梯子を加えた5人が1871(明治4)年に欧米視察の岩倉使節団と共に渡米した日本初の女子留学生なのです。この中で後の2人は、学業半ばで帰国し、歴史の中から消えてしまいましたが、津田梅子は、TACの一員である津田塾大学の前身である女子英学塾を創立し、女子教育の世界で活躍しました。また、山川捨松は、『坂の上の雲』にも登場する大山巖と結婚し大山捨松として鹿鳴館の舞踏会などに登場します。

普通留学するといえば、当然何かを学ぶためにするはずですが、この5人の留学生は、何を勉強するために留学したのかが実はよくわかりません。年齢も8歳から15歳と若いと言うよりもむしろ幼いといったほうがよい年齢です。しかもこの5人を派遣した母体は、なんと「北海道開拓使」というのですから驚きです。開拓使次官であった黒田清隆がアメリカ視察旅行で接したアメリカ女性の教養の高さに驚き、家庭で子女を育てる

女性に対する教育が重要なことを痛感し、女子留学生をアメリカに送ることになったということが背景にあるのです。

さてなぜ瓜生繁子(旧姓永井)についての伝記を取り上げることにしたかと言うと、彼女は1881年に帰国するまでの10年にわたるアメリカ留学中に音楽を学び、帰国後は音楽取調掛で伊沢修二やメーソンを手助けし、東京音楽学校になってからも教師として活動しているからなのです。また私個人としては、海軍大将瓜生外吉夫人であったことにも興味を惹かれました。瓜生外吉という人は、日露戦争での活躍が『坂の上の雲』にも出てきますが、1877年アナポリス海軍兵学校に留学しました。そして留学先のアメリカで永井繁子と知り合い、帰国後結婚することになります。繁子21歳の時です。

繁子は子どもを育てながら、東京音楽学校で後進の指導にあたり、演奏もするという八面六臂の活躍をしました。東京音楽学校の教師としては、学校の方向性が教員養成から、芸術家養成へ変わって

いったこと、音楽の傾向がドイツ音楽に向かつていくなどのわけで、残念ながら10年ほどで辞めることになりました。しかしその後も女子高等師範学校の教師を務め、そして1902年教師を辞め41歳で家庭に入るようになります。

わずか10歳で渡米した繁子は、帰国したときにはほとんど日本語を忘れていたとのこと。繁子の1年後に帰国した津田梅子、山川捨松の二人も同様だったのでしよう。言葉の問題もあり山川捨松は大山巖と結婚し家庭に入ってしまった、津田梅子も大変苦労したようです。本の中に出てきますが、『言葉はなくとも通じる「音楽」という武器が、繁子を幸運児にしたといえよう』とあるように、留学先で音楽を学ぶということを選択した繁子の幸運、そして留学先で瓜生外吉と知り合ったことがまさに運命といえるでしょう。音楽教育の場から身を引いて後には、日米関係の悪化を改善するために夫と共に渡米したりと、色々な活動をされています。最初の女子留学生の生涯に、一度触れてみてはいかがでしょう。

●そね まさとし 私の周りにも留学経験者が大勢いらっしゃいます。歌、ピアノ、語学などなど、もっともっと活躍していただきたいと思います。



# 歌詞を読む本

伊藤 陽子

うです。でも、数は少ないものの、国内外でそういう本が出版されています。今日はその探し方を含め、まとめて紹介しましょう。こういう本、読むだけでも、けっこう面白いですよ。

## 歌曲 テキスト

検索

図書館では(歌曲 テキスト)という件名で検索します。和洋あわせて50件以上、和書だけでもブラームス、シューベルト、シューマン、ヴォルフなどの『歌曲対訳全集』(CG2377他)が見つかります。いずれも歌詞の原語と日本語

対訳が見開きになっていて、簡単な文法解説や、曲の解説、作詞者に関する情報も付いています。読んでみると「ああ、そうなんだ」と思ったりします。

ドイツ歌曲だけではありません。グリンカ、ラフマニノフ、チャイコフスキーなど、ロシア歌曲も、作曲家別に日本語対訳全集が出版されています(C312333他)。辞書を引くのも一苦労の言語なので便利です。イタリア歌曲の場合は、作曲家別ではなくて、『イタリア歌曲集・正しい発音と解釈』(C59562他)、とか『イタリアオペラ・歌曲歌詞解説シリーズ』(C46701

他)として、何人もの作曲家の歌曲をまとめた対訳集が出されています。フランス歌曲では、『対訳フランス歌曲詩集』(J95569)という本があります。これは、フランス歌曲と詩人、フランス歌曲の演奏についてなどの論評と、ベルリオーズ、デュパルク、フォーレ、ドビュッシー他の歌曲の対訳が収載されています。洋書は、ドイツ歌曲を中心に英語対訳の本が数多く出版されています。

## 声楽曲 テキスト

検索

歌詞集が編まれるのは、歌曲に限りません。ミサ曲や受難曲などの歌詞集もあります。J・S・バッハについては、古くからカンタータ全曲歌詞集などが海外で出版されていました。近年日本でも『対訳J・S・バッハ声楽全集』(J16785他)が出ました。クラシック音楽においてはキリスト教の宗教音楽が大きな位置を占めますが、代表的な宗教曲の歌詞対訳を集めて解説を加えた本が数年前に出版されました。『宗教音楽対訳集成』(J13814)というタイトルで、前半はローマ・カトリック教会のラテン語典礼文のうち、ミサ曲、レクイエム、スターバト・

マリエル等など、後半はバッハ、ヘンデル、ブラームスなどプロテスタント系作曲家の代表的作品の歌詞が対訳付で載っていて、曲ごとにいいねいな解説も付いています。作曲家別の声楽曲テキストとしては、洋書も含め他に、ベートーヴェン、ブラームス、ヤナーチェクなどが出版されています。

最後にジャズ・ヴォーカルの歌詞を集めて解釈したユニークな本『ジャズ詩大全』(J05428他)を紹介します。1990年に第1巻が刊行されて以来16年の間に、別巻3冊を含め、22冊が出されました。スタンダード・ナンバーを中心に対訳が付けられた曲の数は膨大で、個々の曲に関する詳しい分析と歴史的解説は、ジャズに関する貴重な参考資料となっています。今回いろいろな歌詞集を見て、グリンカが若い頃、イタリア語やフランス語の歌曲を作曲したこと、ベートーヴェンに英語の歌があることなど知りました。また、ジャズ詩大全の対訳と解説は、アメリカ英語学習のテキストとして役に立つと思いました。

## ジャズ・ヴォーカル テキスト

検索

● いろいろな声楽曲のCDの検索で、日本語対訳付のものに絞りたい時は、注記「フレーズ検索」に「日本語対訳」と入れてください。

「詩集」を探す時は、人名・団体名に詩人の姓名を入力。または当館図書分類(例: 941ドイツ詩)で。

# 図書館と著作権と資料の複写 (その1)

図書館で楽譜・図書・雑誌をコピーしようと思ったとき「著作権法の範囲内でお願ひします」「申込書を記入の上、事前に提出してください」、と言われたことはありませんか？

今までも著作権と複写に関するポイントを「ぱるらんど」でもお知らせしてきましたが、改めて、著作権法と図書館と資料の複写（複製）について、図書館としての解釈をまとめていきたいと思います。今回は「著作権法 第31条」のご紹介です。

◇著作権者の了解を得ることなく、図書館で図書館の資料の複製ができるのは、31条で規定されているからです。以下、本文を転載します。（著作権法全体も一度ご覧ください）

---著作権法

## 第五款 著作権の制限

（図書館等における複製）

第三十一条 国立国会図書館及び図書、記録その他の資料を公衆の利用に供することを目的とする図書館その他の施設で政令で定めるもの（以下この項において「図書館等」という。）においては、次に掲げる場合には、その営利を目的としない事業として、図書館等の図書、記録その他の資料（以下この条において「図書館資料」という。）を用いて著作物を複製することができる。

一 図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分（発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあつては、その全部）の複製物を一人につき一部提供する場合

二 図書館資料の保存のため必要がある場合

三 他の図書館等の求めに応じ、絶版その他これに準ずる理由により一般に入手することが困難な図書館資料の複製物を提供する場合

2 〔省略〕

（平二一法五三・1項一部改正2項追加）

----

この条文を簡単に表現すると、以下のようになります。

誰が	→ 利用者の求めに応じて図書館が
何のために	→ 調査研究のために
何を	→ 公表された資料の一部を
どのくらい	→ 一人一部のみ
何ができるのか	→ 複製を提供することができる。

つまり、図書館（図書館の職員）が利用者からの申込を受けて複製することになっています。ところが、今の時代、どこの図書館にもコピー機（セルフ式コピー機とも呼ばれています）が設置されています。このコピー機による複写の運用方法を、国公私立大学図書館協力委員会が著作権者側の団体である日本複写センターと協議を行い、「実務要綱」を取り決めました。この「実務要項」に従うことで、著作権法第31条で規定されている複製を、利用者自身が行えるようになりました。学内のコピーコーナーやコンビニのコピー機で行うコピーが著作権法第30条「私的使用のための複製」にあたることとの違いをまずご理解ください。（続く）

(mj)

\*\*\*\*\*

◇文化庁：著作権ページ

<http://www.bunka.go.jp/chosakuken/index.html>

◇著作権データベース（国内法令）

<http://www.cric.or.jp/db/fr.html>

◇「国公私立大学図書館協力委員会大学図書館著作権検討委員会」刊行2009年3月27日

大学図書館における著作権問題Q&A（第7版）

[http://www.soc.nii.ac.jp/anul/j/documents/coop/copyrightQA\\_v7.pdf](http://www.soc.nii.ac.jp/anul/j/documents/coop/copyrightQA_v7.pdf)

付録3：大学図書館における文献複写に関する実務要項

<http://www.soc.nii.ac.jp/anul/j/documents/coop/yoko.pdf>

◇「ぱるらんど」バックナンバー

・ご存知ですか？著作権 259号（2008年6月）

・図書館と著作権 ～質問にお答えして～ 260号（2008年9月）

「僕は約束した。僕は弾かねばならない」。これは悪性リンパ腫のために1950年、33歳の若さで夭折したピアニスト、ディヌ・リパッティが最期の演奏会の前に語った言葉です。既に自らの死期を悟っていたリパッティはこの年の9月16日、出演契約を交わしていたブザンソン音楽祭に、周囲の反対を押し切って出演しました。彼はジュネーヴから救急車のような寝台車で主治医と共に会場に辿り着き、痛みに耐えながらショパンのワルツ1曲を残して全てを弾き終えたのですが、その二ヵ月後、帰らぬ人となってしまいました。これは命を賭してまで、自らの演奏によって人々に喜びを与えようとした一人のピアニストの音楽への愛



加藤一郎

の誓いでもあったと言えましょう。私はこの演奏会の実況録音音を中学生の時に聴き、感動で胸が張り裂けそうになりました。リパッティの演奏は透き通るようなリシズムに溢れ、全ての音が光と影を放ち、天使のように歌うのですが、この録音はミスタッチも多く、意識が朦朧とする中必死に音楽を求め、演奏家としての仕事を全うしようとする一種壮絶な記録となっております。この演奏会で弾かれたパツハのバルティータ第1番やモーツァルトのソナタ第8番、ショパンのワルツなどは彼の他の録音でより完全な演奏を聴くことができますし、グリーグやシューマンの協奏曲などは他に比べるものがない程の名演なのですが、それでもなお私はこの1枚に心を打たれてしまうのです。



請求記号 ●XD51402  
Last recital / Lipatti EMI  
Music Japan Inc.  
TOCE-59180

●かとういちろう 本学准教授(ピアノ)



酒井美恵子

平成二十二年度の入学式で、本学の理事長でいらつしやる宮地忠明先生が、お祝いの言葉の中で本書を紹介下さいました。読んでいなかったもので、早速読んでみました。この本には社会の中で音楽家として活躍するにあたってのたいへん具体的な情報が掲載されています。音楽家への一步を踏み出した段階の学生にも、音楽家として活躍を始めた方にも、そして音大生を支援する教職員にも役立つ内容が書かれているとの所感ももちました。

この本を読む場合の効率のよい方法をひとつご紹介いたします。準備をするのは、付箋13枚です。まず序章から12章まで付箋を付けます。付けながら、章の見出しを読み、何が書かれているかをつかみます。次に、また序章に戻り、小見出しを読んでいきます。興味をもって本文を読みたくなくても、我慢して最後まで小見出しを読みます。この作業を行うと、とりわけ今の自分に必要なことはどの章に書いてあったかが分かります。そして、読みたい箇所から読んではいかがでしょうか。演奏における「あたり」と克服の仕方について興味をもつ人もいれば、プロフィールの書き方を読みたいと思う人もいることでしょう。どこから読んでもよい本だと思えますが、途中の「間奏曲 根源的な問い」については、ぜひ音大生に読んでいただきたい内容だと思います。音楽の勉強を進める中で、折々読んでみてはいかがでしょうか。ただし返却の際は付箋の取り外しをお忘れなく！



請求記号 ●J114-106 アンジェラ・マイルズ・ピーチング著、箕口一美訳  
『Beyond talent 音楽家を成功に導く12章 日本語版』水曜社

●さかいみえこ 本学准教授(教職科目)

水に浮かぶことができるようになったのは、中学一年生の夏休みであった。葉山の久留和海岸で、海水浴をしていた時のことである。それまでは水が怖く、とくに足の立たないところでは溺れまいとして体に力が入り、かえってずぶずぶと沈む有様であった。

ふと思いたって、比較的浅いところで、体の力を抜いて水に体をあずけるようにしてみた。すると、浮くではないか。おそろおそろ目を開けると、照りつける日差しがまぶしく、耳元で海水がびちゃびちゃと音をたてていた。うれしかった。懐かしい夏の日の記憶である。

海の思い出はそれだけではない。数年前の冬に、房総半島の勝浦を訪ねた。ドライブの途中、「海中展望塔」の表示があったので、見学してみることにした。ごつごつした岩の水路から、セメントで固めた通路が海に延びているそこを歩いて、円筒形の建物の中に入り、階段を下りてゆく。すると、海面下の幾分広い空間に出、十五ほどの丸い窓からは、水中の魚の様子が観察できるのだった。

悠然と泳ぐ鯛、窓に向かってくる四角い顔をしたふぐ、斜め上のほうに頼りなげに流されていくイカの赤ちゃん。見飽きることがなかった。四十分ほど海の中の生き生きとした世界を楽しみ、海の上に戻ってきた。外では、雨がいつしか雪になり、海は鉛色に寒々としていた。同じ海であるのに、海中と海の上とはこんなに違うのだ。

様々なこととらわれてあくせくし、本質的でないことに依存して、かえって自分を見失っている時、力を抜いて委ねることがいかに大切であるか。また視点を変えたとき、同じものを見ながら、これまでとは違う情景が目の前に姿を現す。そんなことに気づかせてくれたのは、海である。海の贈り物といつてよいであろう。

## 図書館を利用すること～基礎ゼミアルバイトを体験して～

アドヴァンスト・コース 岡野 那美子

満開の桜に祝福されて、今年も新入生がやってきた。私は今年もまた、新入生の前に立ち、大学一の迷路である図書館を案内した。緊張した初々しい新入生たちは、この図書館の所蔵量や見たこともない楽譜に驚き、益々元気になるグループもいれば、「こんな楽譜も読まなければならぬのか」と勉強への不安からため息をするグループもいる。毎年、私はどうだったっけ?と思う。

私の大学4年間は、図書館内部と深くかわわって来た。1・2年は書庫から資料を取り出しカウンターまで届ける配架、3・4年は基礎ゼミの図書館案内のアルバイトをしてきた。特に配架は大変で、上から下まで書庫を走り回り、カウンターに届けていた。何故走るのかというと資料の取り出しを担当する学生とパートの方達全員が、「この資料を待っている人に早く届きたい、この資料で熱心に学んでほしい」という気持ちで動いているからである。この図書館は、検索こそweb管理だが、後はほぼ人力で、館内で配架や管理をしている方の学生への熱い思いで動いているのだ。私は学生が検索した資料を見つけて届ける為に一生懸命働いてくださっている方の存在を基礎ゼミの案内の際にしっかりと伝えて、常に感謝と謙虚な気持ちで、「お願いします」「ありがとうございます」と挨拶をしようと新入生に伝えるようにしている。

ただ資料を出すだけでなく、こんなにも素早く一生懸命に私たちへ資料を届けてくださったり、貸し出し以外にも予約資料が返却されたり、延滞するとすぐはがきが届くのはどうしてなのか。それは、この資料を学ぶ材料にして、大きく育っていく学生の姿を見ることが好きだから。私たち学生は、様々な方に支えられて勉強させていたいただいているのである。その方達の期待に添えるような音楽人になれるよう、新入生には目一杯図書館を利用してほしい。

# 図書館のら・ご・き

## ◇基礎ゼミの図書館体験のこと

今年も無事基礎ゼミの図書館体験が終了しました。今年は今までと少し構成を変え、1階フロア体験は、学生アルバイトの担当とし、今までのAV資料室の利用体験に書庫ツアー（これからの4年間の学生生活の中でこの時にしか入れない書庫）を組み合わせました。2階フロア体験は、図書館職員が担当し、入退館ゲートの通り方から自由閲覧室、参考図書室の施設案内とOPAC検索の説明後、資料を借りて、返却するまでを体験してもらいました。資料貸出のためには、受付からコンピュータを介して書庫に資料番号が紙で出力され、書庫内の職員（パートタイマー）が資料を取出して、階段を上り下りしてカウンターまで運んで来てくれることを説明すると、「居酒屋の注文と同じなんだ」との感想に、思わず笑ってしまいました。書庫から取出して運んでくれる方の苦労も理解していただけたようです。無事、基礎ゼミのレポートが提出できたことと思います。これから4年間、大いに図書館を利用してください。お待ちしております。（もちろん、2年生以上の学生さんたちもお待ちしています）

## ◇音楽配信サービスの利用増加について

図書館の統計については、別掲（p.10-13）されていますが、ここ2-3年の資料の貸出統計で顕著なことは、AV資料、特にCDの貸出件数の減少です。この要因としては、1)館外貸出しの実施 2)貸出日数の変更（1泊2日→1週間）3)楽曲・映像配信サービスの導入などが考えられます。楽曲配信サービスの利用状態を見る限り、ログイン回数の増加とCDの貸出件数の減少がリンクして見えます。また、「音大生なら聴いておきたい100曲」「西洋音楽史概説A/B譜例集」をダイレクトリンクで公開しているため、レポート時期にはアクセスが集中し、アクセス超過となり、接続不可が発生していました。今年度は同時アクセス数を無制限に変更しましたので、安心して利用してください。

Naxos Music Library ログイン回数

2009年度：24,631 2008年度：20,172 2007年度：12,365

## ◇蔵書構成見直しによる資料除却について

図書館の蔵書数は、現在、約40万冊（図書・楽譜・雑誌・AV資料）です。ただ、資料を保管するスペース（書庫）は30年前から増築されていませので、毎年受入れる資料を保管するスペースを確保するためには、何らかの基準に従い、資料を除却しなければならない、という状態になっています。そのため、館内にプロジェクトを立ち上げ、蔵書構成の見直し作業を行っています。第1期（2005～2006年度）、第2期（2008～2009年度）が終了、今年度は第3期（2010～）の計画を検討している段階です。第2期については、図書館委員会の先生たちのご協力を得ながら、音楽以外の分野の資料を中心に、現在の授業等には不要と判断される資料の除却を実施しました。新しい資料を受入れるための対策としてご理解ください。

資料除却数：

第1期：和書15,990冊 洋書：7,011冊

第2期：和書 4,581冊 洋書：1,929冊

主任司書 松浦淳子

## TAC利用登録者数

国際基督教大学へ	19
武蔵野美術大学へ	18
東京経済大学へ	6
津田塾大学へ	12
合計	55

## TLL (TAC相互貸借)

## ■貸出数

国際基督教大学へ	84
武蔵野美術大学へ	6
東京経済大学へ	24
津田塾大学へ	51
合計	165

## ■拝受(借受)数

国際基督教大学から	68
武蔵野美術大学から	8
東京経済大学から	24
津田塾大学から	14
合計	114

## 学内ガイダンス実施状況

月日	時間	クラス名(教員名)	人数	会場
6月5日(金)	14:40-16:10	エディション研究(藤本)	2名	4-301
6月18日(木)	10:40-12:10	音楽教育専門ゼミⅢ:音楽教育研究音楽教育4年(江崎)	3名	自由閲覧室⇒OPAC端末⇒情報端末
7月7日(火)	10:40-12:10	リトミック専門ゼミⅢ:リトミック指導者4年(中館)	8名	自由閲覧室⇒OPAC端末⇒情報端末
7月13日(月)	10:40-12:10	音楽専門ゼミⅢ:学校教育音楽教育4年(酒井)	4名	自由閲覧室⇒情報端末
9月16日(水)	16:20-17:50	専門ゼミⅡ:総合演習音楽教育3年(古川)	6名	自由閲覧室⇒情報端末
9月17日(木)	14:40-16:10	西洋古典表現(ヴァイオラ・ダ・ガンバ)Ⅱ:1~4年(神戸)	9名	自由閲覧室⇒OPAC端末
10月5日(月)~9日(金) 除く10/8 12:30-13:00/16:30-17:00		テーマ別ガイダンス楽譜の探し方ガイダンス	11名	自由閲覧室(10/9 書庫見学)
10月14日(水)	16:20-17:50	専門ゼミⅡ:総合演習幼児教育3年(宇佐美)	6名	自由閲覧室⇒OPAC端末⇒情報端末
12月10日(木)	13:00-14:30	専門ゼミⅡ:子どもと音楽教育音楽教育3年(阪井)	6名	自由閲覧室⇒情報端末

## 展示テーマの一覧

期 間	タイトル	企画者
2009年4月6日~5月1日	展示会の絵とフィガロの結婚	市川利次(館員)
2009年5月11日~6月19日	ポピュラー関連本大集合 ジャズ編	図書館広報委員会
2009年6月22日~7月31日	偽作? 疑作?	図書館広報委員会
2009年8月31日~10月9日	ヨーゼフ・ハイドンの初期交響曲《朝》《昼》《晩》 ~没後200年~	図書館広報委員会
2009年10月12日~11月6日	プッチーニ“La Rondine-つばめ”	図書館広報委員会
2009年11月9日~12月4日	LA PENSEE MUSICALE 一チャルメラの精神世界	音楽研究専修(学部学生)
2009年12月7日~ 2010年1月29日	バッハ《インヴェンションとシンフォニア》《ヴィルヘルム・フリーデマン・バッハのためのクラヴィーア小曲集》	図書館ガイダンス担当
2010年2月1日~3月12日	貸回数ベスト展・2010	図書館広報委員会

## 開閉館日数

通常開館:8:50-19:00	139
開館:8:50-17:00	60
開館:土曜日	39
計	238
休館	23
閉館	36
日曜・祝日	66

※閉館時は大学院生・教職員の利用可

## 入館者数

	入館者数	学内 (学生・教職員など)	卒業生	外部
2009年4月	12,479	11,753	582	144
2009年5月	11,995	11,186	661	148
2009年6月	13,447	12,581	702	164
2009年7月	10,920	9,937	783	200
2009年8月	1,140	876	136	128
2009年9月	10,275	9,470	632	173
2009年10月	11,708	10,949	635	124
2009年11月	8,792	8,199	506	87
2009年12月	8,086	7,479	492	115
2010年1月	4,425	3,906	414	105
2010年2月	2,687	2,274	333	80
2010年3月	1,471	1,188	210	73
	97,425	89,798	6,086	1,541

※入館ゲートを通じた利用者数

※カードを発行していない初回利用者の通過は含まれていません。

※事務用カードでの通過は除外しています。

2009年11月27日~11月28日は入館ゲートの不具合のためデータなし。

2009年4月6日~4月9日の新入生の入館データは基礎ゼミ実施のためデータより除外。

# Library Data・2009

2010/3/31現在

## 図書館所蔵資料数

図書	楽譜	雑誌	紀要	マイクロ	82,497	AV資料				
						CD	ビデオ	LD	DVD	LP
141,985	135,598	2,639	1,401	10,863	63,802	2,979	3,811	2,546	6,397	

## 資料受入数

### ■図書

	和書	洋書
一般	534	25
音楽	800	888
小計	1,334	913
合計	2,247	

### ■楽譜

全集	119
ミニチュア	107
声楽	357
鍵盤楽器	313
アンサンブル	1,287
リブレット	17
邦楽	0
合計	2,200

### ■AV資料(枚数)

CD	1,903
DVD	335
LD	0
VHS	0
合計	2,238

### ■逐次刊行物(タイトル数)

雑誌	和雑誌	洋雑誌
一般	239	18
音楽	303	392
合計	542	410

### ■貴重資料

楽譜	15
図書	0

紀要	425
----	-----

## 資料別・利用者別貸出件数

利用者区分	利用者数	図書	楽譜	雑誌/紀要	マイクロ	AV資料	総計
学部生	1,844	18,439	49,917	1,363	7	58,029	127,755
大学院生	66	5,058	6,256	700	13	6,922	18,949
別科	9	103	56	—	—	169	328
その他学生	89	507	1,889	74	1	2,024	4,495
小計	2,008	24,107	58,118	2,137	21	67,144	151,527
教員(正規)	341	2,805	6,141	674	5	7,980	17,605
教員(正規外)	19	141	660	12	—	401	1,214
授業補助	2	123	1,202	—	—	2,365	3,690
職員(正規)	128	595	417	191	6	756	1,965
職員(正規外)	14	128	220	28	—	206	582
小計	504	3,792	8,640	905	11	11,708	25,056
卒業生(長期)	807	3,822	13,443	1,509	16	6,187	24,977
卒業生(当日)*	49	47	262	13	4	94	420
外部(長期)	94	1,514	1,654	505	24	533	4,230
外部(当日)*	965	1,000	3,584	1,478	35	630	6,727
小計	1,915	6,383	18,943	3,505	79	7,444	36,354
TAC	124	190	191	34	—	64	479
学外利用者小計	2,039	6,573	19,134	3,539	79	7,508	36,833
総計	4,551	34,472	85,892	6,581	111	86,360	213,416

\*当日利用はのべ人数

## 年間平均貸出件数

	総計	図書	楽譜	AV	雑誌/紀要
学部学生	69.3	10.0	27.1	31.5	0.7
大学院生	287.1	76.6	94.8	104.9	10.6
学外利用者	18.1	3.2	9.4	3.7	1.7

貸出統計は前年度より、全体で約2,6000件減。

学部学生は利用者数で80名減、貸出件数は27,000件減、内AV資料貸出件数18,000件減が顕著です。

大学院生は利用者数8名増、貸出件数2,700件増、外部利用者数は145名減となり、貸出件数も2,300件減です。

学部生の1人当たりの貸出件数は図書10冊、楽譜27冊と例年並ですが、AV資料は31.5件と昨年度の40件より大幅減、主な要因はCDの貸出期間が1週間になったこと、音楽配信サービスの普及が影響していると思われます。

## 外部利用登録者数

	2009年度	2008年度
長期登録	807人	860人
901人	94人	102人
当日利用	49人	74人
1,014人	965人	1,091人

\*当日利用はのべ人数

## 相互協力件数

	2009年度引受件数	2009年度依頼件数
閲覧願利用者	279	19
文献複写	387	67
参考調査(文書)	208	19
相互貸借(ILL)	93	16
附属関係(中・高)	285	—
(小学校)	55	—

LD	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	Il Trittico [映像資料] / Giacomo Puccini. - 発売元・レーザーディスク, c1983.	103	VD1170他
	2	Le Nozze di Figaro [映像資料] / W.A. Mozart. - Manufactured and distributed by Toshiba-EMI, [1989].	84	VD270他
	3	Le Nozze di Figaro [映像資料] / Wolfgang Amadeus Mozart. - Manufactured and distributed by Polydor, 1988, c1976.	82	VD157他
	4	Così fan tutte [映像資料] / W.A. Mozart. - Manufactured and distributed by Toshiba EMI, [199-].	58	VD273他
	4	Così fan tutte [映像資料] / Wolfgang Amadeus Mozart. - 発売元: BMGビクター, 1991, c1989.	58	VD676

DVD	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	耳をすませば [映像資料]. - 発売元: プエナ ビスタ ホーム エンターテイメント, c1995.	76	VE270
	2	もののけ姫 [映像資料]. - 発売元: プエナ ビスタ ホーム エンターテイメント, c1997.	69	VE244
	3	Don Giovanni [映像資料] / Mozart. - Opus Arte, 2006.	59	VE1283
	4	L'elisir d'amore [映像資料] / Gaetano Donizetti. - PolyGram, [1999].	58	VE28
	5	Così fan tutte [映像資料] / Wolfgang Amadeus Mozart. - [TDKコア: 販売: キングレコード, 2006].	54	VE1527

ビデオ	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	美女と野獣 [映像資料]. - 日本語字幕スーパー版. - 発売元: プエナビスタジャパン, [2000?].	37	VB3141
	2	Cats [映像資料]. - 発売・販売/ポリグラム, 1998.	36	VB2586
	3	三部作 [映像資料]. - CIC・ビクター ビデオ (発売元), c1983.	27	VB687
	4	コン・ファン・トゥッテ [映像資料] / モーツァルト. - 発売・販売: ポリグラム, 1997, c1988.	25	VB2402
	5	サウンド・オブ・ミュージック [映像資料]. - 発売元: 20世紀フォックス ホーム エンターテイメント ジャパン, c1999.	23	VB2668

### オンラインデータベース

順位	データベース名	利用回数
1	grovemusic.jp日本語版 (『ニューグローヴ世界音楽大事典』)	410
2	CiNii (NII論文情報ナビゲータ) [GeNii]	376
3	RILM Abstracts of Music Literature [EBSCOhost]	121
4	grovemusic.jp英語版("The New Grove Dictionary of Music and Musicians")	113
5	新編音楽中辞典	104
6	国立音楽大学附属図書館Web-OPAC検索	79
7	Britanica Online Japan WebcatPlus [GeNii]	72
9	本学卒業/修了論文・作品	68
10	ネットで百科	61

\*Best3は2008年度と同じ順番 \*ニューグローヴ英語版が7位から4位にアップ

### 新着雑誌一覧

#### ■和雑誌 20誌

P5513	こどもと：幼児の指導(学習研究社)
P5516	民音音楽博物館報(民音音楽博物館)
P5517	民音音楽博物館だより(民音音楽博物館)
P5518	日本オルガン会議報告書(日本オルガン研究会)
P5519	発声指導法研究(発声指導法研究会)
P5520	日本声楽発声学会誌(日本声楽発声学会)
P5522	無形文化遺産研究報告(文化財研究所東京文化財研究所)
P5523	心理臨床の広場：forum: a clinical psychology magazine(日本心理臨床学会)
P5525	日本のプロフェッショナル・オーケストラ年鑑(日本オーケストラ連盟)
P5526	D-file：ディーファイル：自治体情報誌(イマジン出版)
P5527	チャイルド・サイエンス：子ども学(『日本子ども学会』事務局)
P5528	同人音楽研究(同人音楽研究会)
P5530	パーソナリティ研究(日本パーソナリティ心理学会)
P5531	音楽芸術マネジメント(日本音楽芸術マネジメント学会)
P5533	音楽学習研究：音楽学習学会紀要(音楽学習学会)
P5534	Soundscape mail magazine(日本サウンドスケープ協会)
P5535	赤とんぼ(大空社)
P5536	日本の出版社(出版ニュース社)
P5541	助成団体要覧：民間助成金ガイド(助成財団資料センター)
P5543	日本パーソナリティ心理学会大会発表論文集(日本パーソナリティ心理学会大会)

#### ■洋雑誌 12誌

P5514	Clavier Companion(Frances Clark Center for Keyboard Pedagogy)
P5515	The journal of music : intelligent writing on musical life(Journal of Music)
P5521	The American organist(Organ Interests)
P5524	Three oranges journal(Serge Prokofiev Foundation)
P5529	Musurgia(Editions ESKA)
P5532	Research studies in music education : a journal fostering music education research in Australia, New Zealand, East and Southeast Asia(USQ Press and the Faculty of Arts, University of Southern Queensland)
P5537	Aktuelles aus der DMG(DMG)
P5538	Zeitschrift der Gesellschaft für Musiktheorie : ZGMTH(Olms)
P5539	Music therapy now : newsletter of The Association of Professional Music Therapists and The British Society of Music Therapists(British Society for Music Therapy) →誌名変更: British Society for Music Therapy news(British Society for Music Therapy)
P5540	Educational studies in Japan : international yearbook : ESJ(Japanese Educational Research Association)
P5542	Richard Strauss-Jahrbuch(Schneider)

## 資料別貸出回数ベスト

	順位	タイトル	利用回数	請求記号
図書	1	バッハ 演奏法と解釈 / パウル・バドゥーラ=スコダ著. - 全音楽譜出版社, 2008.	33	J113-188他
	2	ショパンのピアノニスム / 加藤一郎著. - 音楽之友社, 2004.	31	J100-871他
	3	ガブリエル・フォーレ / E.ヴェイエルモース著. - 音楽之友社, 1981.	27	C32-425他
	3	シューマン/ピアノ曲 / J.チセル著. - 東芝EMI音楽出版, 1982.	27	C35-289他
	5	ベートーヴェンのピアノ・ソナタ / 園田高弘, 諸井誠共著. - 音楽之友社, 1971.	26	C11-885他
	5	ベートーヴェン ピアノ・ソナタ演奏法と解釈 / パウル・バドゥーラ=スコダ著. - 新版. - 音楽之友社, 2003.	26	J98-315他
楽譜 (ミニチュア)	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	The rite of spring [印刷楽譜] / by Igor Stravinsky and Nicolas Roerich.. - Re-engraved ed.. - Boosey & Hawkes, c1947.	34	E8-861他
	2	5th symphony, op. 47 [印刷楽譜] / D. Shostakovich. - Boosey & Hawkes, [19--].	22	E6-951他
	2	Eine Alpensinfonie [印刷楽譜] / Richard Strauss. - Partitur. - F.E.C. Leuckart, c1915.	22	E11-029他
	4	Masquerade suite [印刷楽譜] / Aram Khachaturian. - [Authorized ed.]. - Leeds Music Corp, c1950.	21	E4-266他
	5	Le nozze di Figaro [印刷楽譜] / Wolfgang Amadeus Mozart. - E.F. Kalmus, [19--].	20	E5-119他
5	Die Hochzeit des Figaro [印刷楽譜] / W.A. Mozart. - Edition Peters, [1966].	20	E9-995	
楽譜 (声楽)	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	日本歌曲集. 1 [印刷楽譜]. - 全音楽譜出版社, c1970.	69	F9-130他
	1	日本名歌110曲集 [印刷楽譜]. - 全音楽譜出版社, [198-].	69	F9-148他
	3	Samtliche Lieder fur eine Singstimme mit Klavierbegleitung. Bd. I [印刷楽譜] / Robert Schumann. - Originalausg. (Hohe Stimme). - Edition Peters, [19--?].	66	F8-569他
	4	36 arie di stile antico [印刷楽譜] / S. Donaudy. - Ricordi, c1918-1922.	60	F9-107他
5	Ausgewählte Lieder [印刷楽譜] / Schubert. - Mittlere Stimme. - Kyo-gei Music, 1982-1984.	53	F20-801他	
楽譜 (鍵盤)	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	Klaviersonaten [印刷楽譜] / Beethoven. - G. Henle, c1952-c1953.	33	G2-595他
	2	小品集 [印刷楽譜] / ドビュッシー. - 音楽之友社, 1977.	32	G25-372他
	2	ピアノ・ソナタ全集 [印刷楽譜] / Franz Schubert. - 音楽之友社, 1998-1999.	32	G27-295他
	4	Die sechs franzosischen Suiten [印刷楽譜] / Johann Sebastian Bach. - Zen-on Music, 1990.	28	G22-799他
4	ディズニープリンセス [印刷楽譜]. - ヤマハミュージックメディア, 2003.	28	G30-083他	
楽譜 (アンサンブル)	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	La fille du regiment [印刷楽譜] / paroles de M.s Bayard et St. Georges. - Peters, 1969.	44	H12-960他
	2	Complete sonatas for piano and violin [印刷楽譜] / Beethoven. - Zen-On Music, 1997-.	32	H36-720他
	3	Quatuor pour la fin du temps [印刷楽譜] / Olivier Messiaen. - Durand, c1942.	30	H20-645他
	4	Così fan tutte [印刷楽譜] / W.A. Mozart. - C.F. Peters, c1941.	25	H13-245
5	Lieder. Vol. 4 [印刷楽譜] / Richard Strauss. - Gesamtausg.. - Boosey & Hawkes, 1965.	24	H17-407	
楽譜 (全集・叢書)	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	Strauss, Richard Lieder, Gesamtausgabe	13	A1-935他
	2	Wolf, Hugo, Sämtliche Werke	12	A2-557
	3	Schumann, Robert Alexander/旧全集・リプリント版	11	A1-873
	3	Instituta et Monumenta. Serie 1: Monumenta	11	A7-485他
	3	The Italian Cantata in the Seventeenth Century	11	A8-875
	3	Recent Researches in the Music of the Baroque Era	11	A5-938
3	Strauss, Richard Lieder, Gesamtausgabe	11	A1-937他	
リフレット	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	フィガロの結婚 / モーツァルト. - 音楽之友社, 2001.	28	X0-945他
	2	コシ・ファン・トゥッテ / 台本 ロレンツォ・ダ・ポンテ. - 音楽之友社, 1970.	24	X0-411他
	3	コシ・ファン・トゥッテ / モーツァルト. - 音楽之友社, 2002.	18	X0-897
	4	魔笛 / シカネーダー/台本. - 音楽之友社, 1966.	15	X0-389他
4	フィガロの結婚 / ボーマルシェ原作. - 音楽之友社, 1963.	15	X0-391他	
雑誌	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	教育音楽	581	P0625
	2	教育音楽. 中学版	569	P0626
	3	邦楽ジャーナル	292	P1354
	4	民音	228	P0630
5	月刊piano	225	P1785	
紀要	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	国立音楽大学研究紀要	59	PB102
	2	国立音楽大学音楽研究所年報	49	PB102F
	3	国立音楽大学大学院研究年報・音楽研究	37	PB102D
	4	武蔵野音楽大学研究紀要	17	PB047
5	桐朋学園大学研究紀要	15	PB083B	
CD	順位	タイトル	利用回数	請求記号
	1	Italian opera composers' songs [録音資料] / Jose Carreras, tenor. - Sony classical, 1990.	73	XD11000他
	2	Eterno amore e fe [録音資料] / Nobuko Takahashi. - Victor, 2001.	72	XD46333他
	3	Le nozze di Figaro [録音資料] / Da Ponte-Mozart. - EMI, 1987.	69	XD3732他
	4	イタリア歌曲集 [録音資料] / 監修 畑中良輔. - Fontec, [1997?].	67	XD37582他
4	Arie antiche italiane 2 [録音資料]. - Fontec, 2007.	67	XD59994他	

## 心に響くもの

演奏学科鍵盤楽器専修（ピアノ）3年  
加藤桜子

梯さんのことを知ったのは私が高校生の時。きっかけは、テレビのCMからきこえてきた音楽でした。流れていたのはちょうどその頃に勉強していた曲で、演奏会のお知らせという内容と共に流れてきた音色は、とても美しく、今までに出会ったことのない響きでした。「彼の演奏がききたい」と強くおもいました。

勧めます！  
この演奏会で1冊の本に出会いました。梯さんの半生記が描かれた本『いつも僕の中は光』です。もつと梯さんのことについて知りたい、とおもった私は、演奏会後すぐにこの本を読み始めました。この本は少しずつ点字で書いていったのだそうで、点訳本も出ています。  
読み進んでいくと、心がぼかぼかと温かくなるのを感じました。言葉がとても素直で、一つ一つの言葉が心に響きます。  
梯さんは子供の頃に体験したことや、感じていた気持ち、感動したこと：を、とても大切にしています。それは彼の音楽にふれていても、この本を読んでいても伝わってきます。何よりも、理想の音を追いつづけている彼の真摯な姿に心打たれ、とても感動しました。

音楽を勉強していく中で、楽しいだけの作業ではないこともあり、苦しいこともあります。それでもまた、音楽を聴いて感動したり、涙を流したり：音楽に励まされ勇気をもることが必ずあるとおもいます。  
私は梯さんの言葉、音楽が励みの一つとなっています。何かを越

演奏学科声楽専修 2年  
溝淵加奈枝

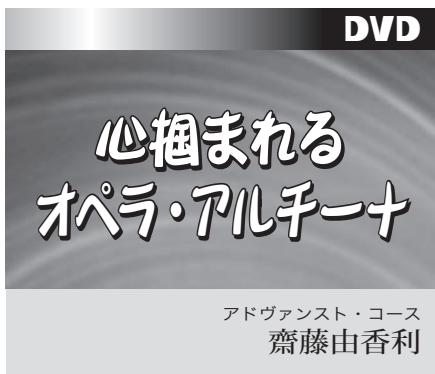
演奏者にとって楽譜は作曲者と自分を繋ぐ大切なツールだ。楽譜がなくては作曲家の作った素晴らしい曲に出会うこと、演奏することはとても難しいだろう。しかし私たちは楽譜をなにかと無造作に扱っているふしがないだろうか。私自身はレッスンで「もつと楽譜を観なさい」と何度も言われる。音は間違つてないしテンポも守っているのにと思うが先生に指摘されて初めて発想記号や求められている表現の変化に気づくのだ。そして曲を練習するほど私は楽譜に詰まっている情報量の多さにつくづく感心する日々である。  
そんな折、シヨパンの直筆譜を観る機会に恵まれた。直筆譜を観たのは初めてだったが私は直筆譜から感じられる作曲者の息吹に圧倒されてしまった。なんの変哲もない手書きの楽譜だが見ればみるほどシヨパンの性格や彼の曲へのイメージが筆跡に表れているように見飽きなかった。こんな体験以降すつかり私の中で直筆譜を観るのが楽しみになってしまった。  
さすがに直筆譜そのものは中々お目にかかれないが幸いなことに図書館にはファクシミリ版といって直筆譜を印刷したものが数多く取められている。もし直筆譜を初めて観るならお勧めはウィーン原典版の付録についているファクシミリ版だ。この中には私たちの知っている曲が数多く含まれていてとても親しみやすいと思う。

請求記号●J106-565  
梯剛之『いつも僕の中は光』  
角川書店

えなくてはならない時、勇気ももらい、がんばろうと思えるのです。梯さんの温かさにぜひ触れてみてください。

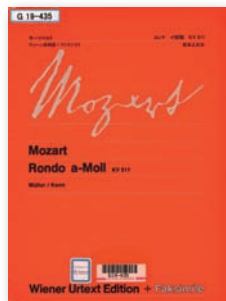
●みぞぶち かなえ。去年通い詰めたおかげが用事がなくてついでに図書館に通ってしまいます(笑)。

●かとう さくらこ。先日、高校以来はじめて、梯さんの演奏会に行ってきました。♪幸せな時間をみなさんどうぞ。



例えばモーツァルトのイ短調のソナタは誰でも耳にしたことがある。しかし直筆譜を観たことがある人は意外に少ないのではないかと。私も初めて観たときはなんて汚くて読みにくい楽譜なんだろう、写譜屋さんは大変だなあとしか思わなかったが今改めて観ると実に多くの情報が詰まっていることに気づかされる。彼がピアノ曲でありながら音域にに応じてハ音記号を用いて記していたり、バツハの時代からは考えられないほどの記号や表示を楽譜に書き込んでいたりすることなどだ。この他にも原典版と比べるとより多くのことが発見できよう。ちなみに私にとつて最も印象深かった発見は、彼らも

私がヘンデルのオペラ《アルチーナ》を知ったのは、オペラ史の授業においてだ。スクリーンに映し出された少々過激な演出のステージ、スピーカーから流れ出てくるアリア《Di, cor mio》の美しいメロディーとハーモニーに心奪われた。それから図書館で全てを鑑賞し、途端このオペラの虜となった。その後幾つかヘンデルのオペラを観たが、アルチーナ以上に心惹かれるものはなかった。そ



請求記号 ● G19-435  
『ロンド イ短調 / モーツァルト』  
音楽之友社

の凄い勢いでの一発書きでありながら譜面にほぼミスがなかったことだ。これは彼の脳内でいかに音楽が具体的に鳴り響いていたかの一つの証拠だと思う。  
「譜読み」という言葉があるように楽譜は一種の読み物だ。しかしときには楽譜を「観る」、そんな楽譜の楽しみがあつても良いのではと思う今日この頃である。

ここで私がヘンデルオペラの最高傑作だと思ふこのオペラの魅力を、沢山の人が知って頂きたいと思ふ執筆に至つた。  
2008年9月〜2009年12月に欧米の主要なオペラハウスで上演されたヘンデルのオペラの中で、アルチーナは2番目に上演回数が多い。これはアルチーナに人気と魅力があることを裏付けていると思うが、その魅力は何であるのか。それは殆どのアリアの質が高いことであると私は思う。重唱は1曲、合唱は短い3曲だけで後はソロのレチタティーヴォとアリアの連続で出来ている作品であるので、アリアの質の高さがそのまま作品の面白さに繋がると考えられる。そしてヘンデルはアルチーナにおいて、他のオペラに比べ殆どのアリアを魅力的に仕上げること成功しているように思う。詳しくその理由について語りたが、それはアリアによって違う上に文字数も足りない、是非視聴して体感して頂きたいと思う。とにかく心に迫るのだ。  
ところでこのDVDを薦める理由も述べなければと思う。オペラ史の先生曰く、発売されているアルチーナのDVDはこれのみというところで、このDVDを紹介する



請求記号 ● VE274  
『アルチーナ』Arthaus Musik  
100 339

しかないということもある。しかし唯一でありながらこれは素晴らしいDVDであると私は思う。それは演出、出演者の高い表現力、ダ・カーポ・アリアの装飾の素晴らしさからだ。演出はバロックオペラにおいてしばしばそうであるように現代演出であるが、ただ過激なだけではなく、登場人物の心情や、オペラの筋の新しい解釈を分かりやすく強調しており、観ていて飽きない。また出演者は恥ずかしながらアリス・クート以外は知らなかったのであるが、どの人も高い演奏力と演技力、そしてセンスの良い、より聴き手に心情が伝わる装飾をつけていて聴き応えがある。  
拙い語彙力故に魅力を語り尽くせないが、唯一無二の素晴らしいDVDであるとは自信を持って言えるので、是非鑑賞頂きたいと思う。

訂正 ● 前号(266号)執筆の櫻井唯乃さんは「音楽文化デザイン学科音楽療法専修」でした。訂正します。

## がんばって教育実習

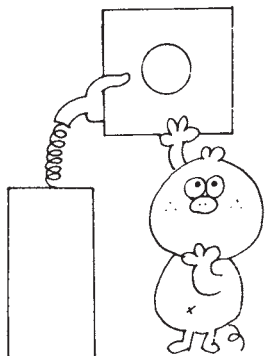
教育実習の季節です。実習に行かれる方は、受付カウンターで「教育実習」と申し出て下さい。和図書・楽譜の貸出期間が2週間から4週間になります(CDは対象外)。返却日に少しゆとりがあるので、安心して利用できます。楽しい授業をつくってくださいね。

## 夏休み貸出が始まります

7月1日(木)から夏休み貸出が始まります。資料が2カ月以上も借りられます。9月の返却は忘れないように。

## 図書・雑誌・楽譜・CDの配布について

5月24日(月)～5月28日(金)に推薦図書から外れた図書をはじめ、重複する楽譜やCD、雑誌などの配布を行いました。



## 貸出票について

4月から資料の貸出時に貸出票(請求記号と返却期限が記されているシート)をお渡ししない設定が標準になりました。すぐにゴミになってしまう場面が多く見られたため、エコの観点からこのような変更を行いました。借りている資料と返却期限は、OPACの利用状況画面でご確認ください。

貸出票が必要な方は、OPACの利用状況画面で「設定」タブを開き、現在のパスワードを入力して貸出票出力を「出力する」に設定し、変更ボタンを押してください。

## 省エネ活動「くにおん・エコ」展開中

本学の省エネ活動「くにおん・エコ」の一環として、図書館でも使用していないOPAC端末の電源を切る、冷暖房温度を、冷房・28度、暖房・20度に設定する等の省エネ活動を実施しています。ご理解とご協力をお願いいたします。

## 音楽教科書の探し方ガイドンスウィーク

5月10日(月)～5月14日(金)に、音楽教科書の探し方についての自由参加型ガイドンスを行いました。

## ●●● テーマ展示 in ブラウジングルーム ●●●

5月10日(月)～6月18日(金)

ポピュラー関連本大集合 ジャズ編 Part 2

企画●国立音楽大学附属図書館広報委員会

ポピュラー音楽に関連した図書館所蔵の和書をジャンル別にご紹介します。今回は昨年と同じくジャズをテーマに、この1年で新しく入った本を追加して展示します。

## ●●● ガイドンス ●●●

- 4月7日(水) オリエンテーション(1年・別科調律科)
- 4月20日(火) 宇佐美明子先生ゼミガイドンス(4年・幼児教育)
- 4月28日(水) 古川聡先生ゼミガイドンス(4年・幼児教育)





# Library Calendar

6

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

■Parlando・Memo・267号・June 8, 2010・Memo・267号「語りかたのふし」について意味の楽想記事も■発行・国立音楽大学附属図書館■編集担当・河田篤子・宮部真砂子■

- ◆ 閉館
- ◆ 月～金 8:50～19:00 (書庫内資料の受付は18:00まで) ● AV資料室 8:50～18:50 (受付は18:10まで)
- ◆ 土 8:50～17:00 (書庫内資料の受付は12:00まで) ● AV資料室 8:50～12:00 (受付は11:50まで)
- ◆ 印 8:50～17:00 (書庫内資料の受付は16:50まで) ● AV資料室 8:50～16:50 (受付は16:30まで)
- ◆ □は学内者のみ